

## 令和6年度（2024年度）根室圏域地域保健・職域保健連携推進連絡会

日時 令和6年（2024年）11月20日（水）16：30～17：30

Web（Zoom）開催

出席者 21名（内 事務局5名）別紙出席者一覧のとおり

- 議題
- 1 職域保健の現状と健康づくりの取組みについて
  - 2 釧路署管内の有所見率の現状について
  - 3 「すこやか北海道21」を推進するための根室圏域健康づくり事業行動計画について
  - 4 意見交換
  - 5 連絡事項

### 議事

#### （1）職域保健の現状と健康づくりの取組みについて（資料1）

全国健康保険協会北海道支部企画総務部企画グループ グループ長補佐 遠島 綾子 氏

- ・協会けんぽは、主に中小企業を対象とした医療保険を運営する公法人であり、加入する従業員、被保険者本人とその扶養に入っているご家族様を加入の対象としている。
- ・加入事業所の約8割が従業員9人以下の中小企業となっている。
- ・北海道の医療費は、年齢階級を調整した場合でも、全国の医療費より高い地域であり、特に入院の医療費が高い。
- ・疾病分類別の1人当たり医療費は、新生物（がん）が一番多い。
- ・生活習慣病予防健診受診率は52.1%となっている。
- ・特定保健指導実施率は13.5%となっている。
- ・北海道の健康度は全国と比較して悪い結果であり、特に喫煙率が高い。
- ・協会けんぽでは、健康経営をしますと手を挙げた会社に、フォローすることを行っている。
- ・健康事業所宣言に取り組んでいる事業所は、現時点で3300社を超えている。
- ・健康事業所宣言事業所にサポートしており、新たに健康測定機器（野菜の摂取量がわかる機器）の貸出しをしている。

他にも職場の喫煙対策推進セミナーなどを行っている。

#### （2）釧路署管内の有所見率の現状について（資料2）

釧路労働基準監督署第三方面主任監督官 藤澤 徹明 氏

- ・令和5年度の釧路署管内に定期健康診断における業種別有所見率は68.2%となっている。
- ・有所見率高い上位3社は、運輸交通業（78.1%）、接客娯楽業（77.2%）、清掃と畜業（77.0%）となっている。
- ・健康診断項目の有所見率全体は、全国58.9%、全道63.2%、釧路署管内68.2%と全国・全道より高い。
- ・項目別に見ると、血中脂質、血圧などが比較的高い。
- ・有所見率の推移で見ると概ね横ばいに推移しているが、平成26年と比べるとおおよそ7%増えている項目もある。
- ・業種別定期健康診断実施結果から建設業が良くなっているように見えるが、管内で50人以上の事業場が多くないので、1人有所見者が増えると割合も大きく変わるような業種なので、長期的な視点で見えていく必要がある。

#### （3）「すこやか北海道21」を推進するための根室圏域健康づくり事業行動計画について（資料3）

事務局から説明（早坂主査（健康増進）：中標津保健所）

- ・今年作成した計画は、令和11年度までの6年間を推進期間としておりますので、職場、地域の方が健

やかで心豊かに生活できる活力ある社会を各市町、関係機関・団体等と連携を図りながら健康づくりの推進に努めていきたいので、協力願う。

- ・計画の進捗管理については、現在調査取りまとめ中。
- ・住民向けリーフレットを作成し、根室保健所ホームページにも掲載されているので、活用願う。

#### (4) 意見交換

##### ●事務局から説明（早坂主査（健康増進）：中標津保健所）

- ・根室圏域の取り組みについての調査結果から、優先度の高い取組可能な領域は、身体活動・運動と休養・睡眠が同じ数で、次に喫煙が多く、続いて栄養・食生活、がんが同数となった。
- ・取り組み方法については、A3 ポスターを作成して協力機関に配布・掲示とリーフレットを作成し、協力機関に設置が同数であった。
- ・それ以外では、健康運動セミナーや歯と口の講演会などを開催し、興味を持っている人達から口コミで拡散を促す、QR コード、Youtube など運動や睡眠・休養に関する動画、年次有給休暇の取得促進、勤務間インターバル制度の周知などの意見があった。
- ・次年度の取り組みとして、身体活動・運動及び休養・睡眠をテーマに地域住民に響く形でわかりやすく伝え、実践してもらえるよう、A4 両面もしくは、A4 二つ折りくらいのリーフレットを作成し、関係機関に配布し普及啓発をしていきたいので、意見をいただきたい。

##### ●意見：別海町 保健課主幹 島澤 氏

- ・リーフレットを作成いただいたら、周知したいと思う。

##### ●意見：根室市外三郡医師会 副会長 岡田 氏

- ・地域の喫煙が多く、禁煙外来をやり始めたが、なかなか受診したくても仕事が忙しく受診できない方がいる。
- ・診療の中でも、仕事が忙しくて薬が飲めていない方がいる
- ・産業医として、企業の方に必ず受診を促すように指導しているが、仕事をされている方が理解されていない、周知されていないことがあるので、企業にはしっかり周知いただきたい。
- ・地域では、脂質異常代謝も多く、医療費の抑制を考えると投薬治療も控えた方が良い面もあると思うが、先進国の中で、冠動脈疾患でのカテーテル治療が増えていると言われていて、その原因が脂質以上代謝の治療をしないからだと言われていた医師がいた。
- ・実際の診療でも、薬を飲むことに抵抗を示す方がいるので、医療費の抑制を考えるとカテーテル治療の方が高いため、そのような情報も盛り込んでいただきたい。

##### ●意見：全国健康保険協会北海道支部企画総務部企画グループ グループ長補佐 遠島 氏

- ・健診を受けても再検査や治療にも繋がらず、最終的に健康を害してしまい、ベテラン従業員が退職してしまい、大変困るといった状況を協会けんぽでも、見聞きしている。
- ・先を考えている社長は、長時間労働を減らし、病院に行きやすい環境を作って従業員さんにやめられないような環境づくりをしている。
- ・協会けんぽとしても、自治体と連携して何かできることがないか常に考えているので興味のある方はお声がけいただきたい。

#### (5) 連絡事項

事務局から説明（早坂主査（健康増進）：中標津保健所、斉藤管理栄養士：根室保健所）

- ・根室圏域健康づくり事業行動計画推進会議開催要領を改正し、令和6年7月31日に会議を開催した。
- ・令和7年1月21日（火）14:00～15:30に健康づくり講演会を開催する。  
テーマは、「食生活と睡眠で開く健康のとびら」と睡眠に関する講演内容になるので、職員に周知いただき、参加いただきたい。